

【陳情第8号】

【反 対】 本市は平成23年度から県西三河地方税滞納整理機構に参加し、本市独自では処理が困難な事案の滞納整理を実施できたとか、本市職員の徴収技術の向上にもつながっている。

【賛 成】 高浜市は前年度の資料では、県下で3番目に高い国民健康保険税を払っている。ほかも全て必要と思う。

【陳情第9号】

【反 対】 申請者が過度に権利を行使され、暴力沙汰に及ぶことも全国で報道され、本市としても補正予算を組んで警察OBを窓口で危害が及ばないよう配備された。

【賛 成】 義務教育無償の見解は、最高裁判例があり、憲法の義務教育は無償との規定は、授業料のほかに教科書、学用品、その他教育に必要な一切の費用まで無償としなければならぬ。できないと解することはできないとあり、給食費の無料化までに踏み込んだものとは思えない。

【賛 成】

生活保護、介護保険についても厚生労働省の基準より多段階に設定し、低所得段階の倍率を低く抑え、応能負担を強めてくださいとあるが、ぜひやってほしい。要支援者の訪問介護・通所介護は、専門的サービスを保険し、後退させないでとあります。ほかも含めて必要だと思ふ。

【陳情第10号】

【反 対】 医師・看護師・介護職員など大幅に増やすことと人員増を求めているが医療に携わる人材の定着とその育成が大切。現に就業している医療スタッフの定着の促進や離職の防止に重点を置いた対策が大切。

【賛 成】 日本医師連が調べた労働実態調査は、慢性疲労、辞めたいと思う、医療の提供にいても十分な看護ができていないだとか、ミス・ニアミスの経験があると、これらの状況が前回の調査から改善されていないことも明らかにしている。医師を増やすこ

とが問題だとのことだが、医師は外国と比べても大変日本の医師は少ない。

【陳情第11号】

【反 対】 国は介護報酬の改定等にさまざまな取り組みをしており、徐々にその成果も現れている。介護従事者の処遇改善を含む労働条件の決定は、労使間の自立的な話し合いで決定されるべきもの。

【賛 成】

介護労働者の平均賃金は、全労働者の平均よりも9万円も低い状況では介護や障がい者の福祉の状況がよくならないと思ふ。

【陳情第12号】

【反 対】 大幅な増員だけでなく、現に就業している医師や看護師、介護職員の定着促進や離職防止に重点を置いた対策も大切。また、ハローワークの連携や短時間正社員制度活用等の支援策から始めることも必要。

【賛 成】 愛知県議会が2014年7月、看護職員の確保対策の充実

を求めて衆参議長に意見書を提出している。看護師は以前のように3交代でなく2交代の病院も多くあり、人数が減らされている。看護師は厳しい状況で仕事をしている。

【陳情第13号】

【趣旨採択】 官公需発注における商工会員を優先した受注機会の確保は、公共工事の公平性を考えると優先は少し難しい。

【陳情第14号】

【趣旨採択】 企業誘致については、補助金を出して誘致しても撤退してしまうという恐れがある。

【賛 成】

商工会は、本市経済の活性化に尽力されており、地域活性化にも頑張っていた。大限支援する必要がある。

【陳情第15号】

【反 対】 産業競争力強化法で新設した企業、実証特区制度、企業特区は、企業単位で規制緩和を認める異常な制度。労働法制への規制緩和を盛

り込まれる恐れがある。

【賛 成】

本市独自の創業支援事業でもあり、たかはま経営塾への助成、高浜市創業支援資金の利子補給、高浜市空き店舗活用創業支援事業補助金等の継続は不可欠と思ふ。

意見案

12月定例会にて意見案が提出され、本会議の場において質疑・討論し、採決されました。

【意見案第8号】

質疑・討論ともありませんでした。

提出先衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

厚生労働大臣

議会報告会の開催

平成27年3月28日  
(土)午後2時から高浜エコハウスで開催いたします。